



12月のえんだより

社会福祉法人 向学会

U NURSERY 新山口1号館

2025年11月28日(金)

今年も無事12月を迎えることができました。子どもたちにとってこの1年はどんな1年になったのでしょうか。保育園の様々な活動を通して、子どもたちは一回りも二回りも大きく成長しました。来年もいろいろな経験をしながら楽しい園生活にしていきたいと思ひます。

年末年始、お出かけや親戚の方と会うなど出かける機会も多くなると思ひますが、子どもさんのペースに考慮されたスケジュールで楽しい時間を過ごしていただけたらと思ひます。

今年も残りわずかとなりました。保護者の皆様のご協力のおかげで、子どもたちは健やか成長し、そして私たち保育士もスムーズに保育活動を行うことができました。また来年も引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

保育のわらい

<ひよこ組>0歳児

- 自我や要求を受け止めてもらい、満足感や安心感が味わえるようにする。
- 簡単な言葉を使って、保育者と関わりを楽しむ。

<りす組>1歳児

- 寒暖差に留意したり、感染症予防をするなど健康に過ごせるようにする。
- 戸外で冬の寒さを感じながら、全身を動かして遊ぶ。

<ぞう組>2歳児

- 冬の感染症予防に留意し、健康に過ごせるようにする。
- 簡単なルールのある遊びに興味を持ち、保育者や友だちと一緒に楽しむ。



5日(金)	不審者対応訓練
10日(水)	身体測定
18日(木)	誕生会・避難訓練
19日(金)	餅つきごっこ
25日(木)	クリスマス会
12/31(水)~1/4(日)	休園
<英語のレッスン>	
9日(火)・23日(火)	

<職員の予定>

25日(木) 職員会議

「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」

⑦自然との関わり・生命尊重

子どもが出会う環境には、人工のものと自然物(生物を含む)がありますが、特に自然物は、子どもにとって不思議に満ちた、いくらでも触れたい対象です。子どもたちはダンゴムシやバッタなどを見つけて保育室で飼おうとしたり、プランターに野菜の苗や種を植えて育てたり、収穫して食べたりします。

昆虫や小動物の命も、死んでしまえば二度と戻ることがありません。そういった経験を通して子どもたちは命のかけがいのなさを学び、また自然を大切にすることによって、自分たちはいつまでもその自然(生物)と共存することができるということも実感していきます。乳幼児期からたくさんの自然に触れておくこと、それがその後の生命に関する教育の大事な基盤となります。

様々な自然との出会いを工夫し、そこで遊ぶことを通して自然に親しみ、大切にすることを育てたいものです。

寒い時期なので、窓や部屋を閉め切ってしまうがちになってしまいます。ですが、窓や部屋を締め切っていると空気が汚れて、どこことなく倦怠感が出たり、風邪などの菌やウイルスが増えたりもしてしまいます。園でも換気をおこなっております。ぜひご家庭でも窓を閉めっぱなしにしないよう、換気に注意してくださいね。



年末年始の保育について

先日提出していただきました年末年始保育出欠表に変更がある方は、分かり次第担任までお知らせください。よろしくお願いいたします。

餅つきごっこ

19日(金)に1号館駐車場にて、杵と臼を出して「餅つきごっこ」をおこないます。その後、本当についたつきたてのお餅を触って感触を楽しみたいと思ひます。当日は9時までに登園していただき、爪を短く切っておいてください。

本年も大変お世話になりました。来年もよろしくお願いいたします。よいお年をお迎えください。

